

ICT を基盤としたスマートシティ構築に関する技術調査専門委員会 設置趣意書

通信技術委員会

1. 目的

Industry 4.0 及び Society 5.0 に代表される持続的発展を目的とした生産性向上、クオリティライフ向上、効率運用、ゼロエミッションを、ICT を適用して達成するコンセプトが重要視され、このような目的を達成するためのスマート技術社会実装が進められている。

本委員会では、2024 年（令和 6 年）5 月解散の「ICT 活用スマート技術とその社会実装に関する技術調査専門委員会」の後継として、このような有益なスマート技術社会実装事例を統合・連携し、少子高齢化や産業の空洞化が杞憂される各現場、とりわけ都市一極化の流れから人口流出が加速化する地域において、ICT 活用スマートシティ構築を成立させるためのシステム設計コンセプトや関連する各種技術要素を抽出・整理する。

2. 背景および内外機関における調査活動

ICT を活用したスマートシティ構築に関する調査委員会は国際組織である IEEE や IET などが主催する国際会議で近年論文が発表され議論も活発化しつつある。国内では電気学会や電子情報通信学会などの各種研究会や各種全国大会において多数の関連技術が発表されている。しかしながら、それらのプロセスを総合的に取り扱う研究会や委員会は見当たらない。

3. 調査検討事項

各地域においてスマート技術を活用してスマートシティを構築するプロセスを検討すると共に、そのプロセスにおいて ICT が具体的にどのような役割を果たすかを議論する。さらにそのためのシステム設計コンセプトや関連する各種技術要素を抽出・整理し、その課題を明らかにする。

4. 予想される効果

本技術調査専門委員会により各企業や大学などが、垣根を超えて議論することが期待でき、ICT を基盤としたスマートシティ構築の基本コンセプトが明確になると共に同コンセプトを実現する際に必要・有用となる各種要素技術やノウハウ、基礎となるエンジニアリングデザインコンセプトが抽出できると期待される。

5. 調査期間

2024年（令和6年）6月～2027年（令和9年）5月

7. 活動予定

委員会 4回／年 幹事会 4回／年

8. 報告形態

技術報告書あるいは単行本を報告形態とする。